

「手指衛生モニタリング機器を活用した手指衛生遵守率向上のための効果的な啓発方法の検討」への協力をお願い

1. 研究協力をお願い

手指衛生は、感染対策の中でも最も基本的かつ重要な要素です。感染対策は全職員が守れなければ感染が広がっていくため、いかに皆が感染対策の重要性を理解し、実践できるかが重要となります。

平成 27 年 5 月に全ての外来診察室に手指衛生モニタリングが可能な機器が導入されました。現在、この結果を元にデータを整理し、フィードバックを開始し始めたところですが、どのような手指衛生の啓発活動が有効であるか、その手法については模索中であり、感染対策実践者にとって有益な情報となりえます。そのため本研究を実施することとなりましたので研究へのご協力をお願いいたします。

2. 研究の目的

外来診療時の医師の手指衛生遵守率を向上させるための効果的な手法を検討すること。

3. 研究の概要

〈研究対象者〉 三重大学医学部附属病院にて外来診療を行なっている医師

〈研究方法〉 実験研究(前後比較型試験)を行います。さまざまな手指衛生啓発活動を行いその前後1か月のデータを比較検討します。データは、診療科名、医師名、診察室番号、受診患者人数、手指衛生モニタリング回数を使用し、医師個人単位、および、診療科単位での手指衛生遵守率をシステム(SARAYA 手指衛生モニタリングシステム Compleo-10[®])を用いて算出します。

〈研究期間〉 平成 28 年 6 月より 3 年間

4. 倫理的配慮

本研究を行うに当たり、医学系研究科・医学部研究倫理審査委員会の承認を得ております。データの管理については、個人情報管理者(総務課職員係 山本)を置き、診察室ごとのアルコール使用量データを分析する際、診療室番号を匿名化(連結可能匿名化)を行い管理しております。ご自身のデータの削除を希望される場合は、いつでも撤回することができます。その場合は、感染制御部 新居(5658)までご連絡ください。尚、学会や論文での公表後は、撤回を受けられませんのでご了承ください。

5. 研究費用の負担について

本研究は、平成 27 年-29 年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)(基盤研究(C))「医療機関における感染対策の質向上のための包括的システム構築に関する研究」(研究代表者:田辺正樹)の研究助成を得て実施しています(145K08843)。

6. 結果の公表について

本研究の成果は、研究グループに帰属するものとします。研究代表者、研究分担者および統計解析責任者が協議して著者を選出し、学会または論文にて報告を行います。

7. 問い合わせ先

三重大学医学部附属病院 感染制御部 新居晶恵 田辺正樹
電話:059-232-1111(内線 5658)FAX:059-231-5436